

北上市立
鬼の館

だより

2022(R4).10
第57号



コロナ禍も3年目。この夏、岩手県内で1日の感染者が2,000人を超える衝撃的な日もありました。寄せては返す波のようです。この波はいったいつおさまるのでしょうか。しかし人は、大昔から何度も苦難を乗り越えてきました。やがてこの大きな波もおさまり、誰もが好きなことを自由に楽しめる当たり前の日々が戻ってくることを願います。

鬼の館令和4年度上半期をふりかえって

来館者数80万人達成



平成6年の6月にオープンした鬼の館の来館者数が、今年の8月6日(土)に累計80万人を突破しました。記念すべき80万人目は新潟県佐渡市にお住いの藤本さん。藤本さんは佐渡鬼剣舞の庭元を務められ、ご活躍されています。この日に来館されたのは、第61回北上・みちのく芸能まつりに出演するため。来館された藤本さんをはじめ、佐渡鬼剣舞の6名の方々に、鬼の絵が描かれた有田焼の湯呑と北上銘菓の詰め合わせをプレゼントしました。藤本さんは、「開館当初から何度も来ていて、この場で演舞したこともあります。ご縁があって光荣です」と喜ばれていました。

夏休みワークショップ

今年度も夏休み期間中に小学生を対象としたワークショップを開催しました。今回の内容は「鬼剣舞和紙お面づくり」と「鬼っこ万華鏡づくり」、「鬼まめしぼりづくり」です。

7月31日(日)に実施した「鬼っこ万華鏡づくり」は北上市内の小学生10名が参加してくれました。プラ板で鬼の館キャラクターの飾りを作成し、万華鏡のなかに入れてつくりまします。完成したものをのぞき、万華鏡のさまざまな変化を楽しむ参加者の笑顔が印象的でした。



8月7日(日)に実施した「鬼まめしぼりづくり」は鬼をモチーフとした消しゴムはんこを作成し、真っ白な手ぬぐいに自由に押しつけてつくりまします。参加してくれたのは北上市内の小学生7名。消しゴムはんこを作成する際の細かな作業に苦戦する様子も見られましたが、保護者の方や職員の手を借りながら上手に完成させることができました。自由な色使いやデザインの工夫が見られ、楽しいワークショップとなりました。



鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」

わんぱく講座は、鬼剣舞の体験を通して、伝承活動の高揚を図ることを目的とする、鬼の館の特色ある事業の一つです。長年、鬼剣舞好きの子どもたちが数多く参加し習得にチャレンジしてきました。

しかしここ数年はコロナ禍のため、講座の内容も翻弄されています。開催を断念したこともあり、感染防止のために募集人数の大幅な削減もしました。昨年度の冬季講座では、発表会を目前に岩手県独自の緊急事態宣言が発出され、延期を余儀なくされたのです。およそ2カ月半後、年度が変わった今年の4月10日（日）にやっと発表会を実施することができました。待ちに待った発表会で、子どもたちはblankを感じさせない踊りを披露し、笑顔で修了することができました。



この夏行ったわんぱく講座は、4人の子どもたちが「三番庭の狂い」にチャレンジしました。扇の動きが美しい演目ですが、なかなか思うようにはいきません。指導者である岩崎鬼剣舞保存会の先生方は、一つひとつの動きを丁寧にゆっくり、繰り返し教えていました。子どもたちも真剣に取り組む、練習を重ねるにつけ扇が流れるように動くようになっていきました。そして8月11日（木）見守る家族や保存会の先生、来館者の前で練習の成果を立派に発表することができました。



鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会

鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会は、鬼剣舞が大好きでやってみたく、年齢が低いためわんぱく講座に参加できないとか、全日の講座参加が難しい、という子どもたちのために始めました。今年は7月24日（日）と30日（土）に行い、9人の子どもたちが参加して、講座で取り組んでいる「三番庭の狂い」の短縮バージョンを体験しました。

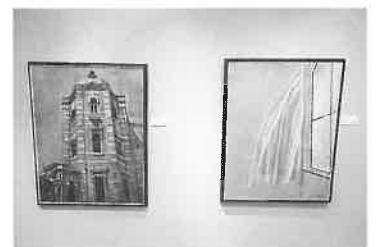
岩崎鬼剣舞保存会の先生に合わせて踊ろうと頑張っている子どもたちからは、「鬼剣舞が好き」という思いがあふれているようです。

太鼓や笛の生演奏が館内に響くと、子どもたちのやる気もますます大きくなります。どの子も満足そうな笑顔を見せていました。



ギャラリー—鬼の館

ギャラリー鬼の館は、4月23日（土）～6月19日（日）まで開催され、写真や絵画など、北上市民の日頃の活動の成果が披露されました。今年は、応募者3組の作品を3回に分けて展示しました。第1期は市内のアマチュアカメラマン5名による「写真5人展」を、第2期は北上市立利根山光人記念美術館に勤める高橋ひらみつさんの油絵の展示「ひらみつ回顧展」を、第3期は市内出身の若手画家・小田島春華さんによる絵画の展示「想いの彩」を開催しました。来館者は、色鮮やかな風景の写真や、日常の風景を幻想的に描いた油絵、日本画の絵具を生かした繊細な絵画などを鑑賞し、会場は老若男女問わず多くの来館者で賑わっていました。



高橋ひらみつ作

左：「かすかな光」 右：「風」

西和賀町立湯田小学校のみなさん（令和3年度取材）

西和賀町立湯田小学校4年生は総合的な学習の時間に鬼剣舞についての学習をしています。ですが新型コロナウイルス感染拡大の影響で、思うように学習を進めることができなくなってしまいました。鬼の館では、楽しみにしていた子どもたちのために力になれないかと考え、担任の先生と相談しながら学習のお手伝いをすることにしました。鬼剣舞のお面づくりをサポートしたり、子どもたちが考えた質問に答えたりと、鬼の館の職員一同、協力して取り組みました。岩手県独自の緊急事態宣言下でしたので、子どもたちと直接顔を合わせることはできませんでしたが、担任の先生が活動の様子を写真や映像で見せてくださいました。いきいきとした表情で学習に取り組む姿を見てとても嬉しくなりました。



鬼剣舞和紙お面づくりの様子



「刀剣舞の狂い」にも挑戦しました

西和賀町立湯田小学校4年生担任 森谷聡先生より

西和賀町立湯田小学校4年生は、総合的な学習の時間に毎年湯本鬼剣舞のみなさんに来校していただき、鬼剣舞について学習しています。令和3年度は鬼の館を見学して学習を深める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止で計画を中止せざるを得ませんでした。鬼の館の職員の方に中止の旨をお伝えすると、鬼剣舞のお面づくりや鬼剣舞に関する質問への回答などさまざまな面でサポートしていただくことになり、今回の活動ができました。

子どもたちは、とても喜んでお面をつくったり、鬼の館のホームページにある「刀剣舞の狂い」の教則動画をタブレットで見ながら家でも練習したりしました。

子どもたちは「鬼剣舞はいろいろな人の思いがこもった伝統芸能だ」と感想をもらしていました。また、子どもたちが踊った鬼剣舞の動画を鬼の館の職員の方に見ていただき、その感想を伝えました。新しい学習スタイルで、「人とのつながり」を感じられる学習にすることができました。

番外編！

北上市立口内小学校のみなさん

鬼カフェ

北上市立口内小学校は今年度をもって閉校となります。5月21日（土）に開催された最後の運動会では全校児童で鬼剣舞を披露しました。



学芸ルームから

企画展「北上のおまじない展」

会期：7月23日(土)～11月23日(水・祝)

まじないとは、神仏や神秘的なものの力を借り、願いを叶えようとする術を指します。本展は北上市内で発見されたおまじないに関連する資料を紹介し、資料に込められた祈りや人々の生活に触れる機会にしようと企画しました。今回は、展示内容について少しだけご紹介します。

土偶

土偶とは、縄文時代につくられた素焼きの人形です。成熟した女性の姿を誇張、あるいは簡略化した形で作られるものが多く、なかには妊娠を思わせるようなお腹のふくらんだ土偶もあります。まじないの道具、あるいは玩具など、多様な用途が考えられますが詳しいことは明らかにされていません。ここでは、北上市内の九年橋遺跡と横町遺跡から発掘された土偶29点を展示します。



土偶 九年橋遺跡 縄文時代晩期後半
(北上市立埋蔵文化財センター蔵)

花巻人形

花巻人形は、現在の岩手県花巻市で誕生した土人形です。北上市内でも花巻人形は身近な存在で、昭和30年代頃までは、雛祭りに花巻人形を飾り、子どもの健やかな成長を祈願しました。雛祭りで飾る人形は、自分が受ける災いを紙に移し、川や海へ流す人形が起源で、公家や武家の文化を経て、一般家庭に取り入れられたものと考えられています。ここでは、内裏雛など、雛祭りに飾られた花巻人形を中心に展示します。



花巻人形 左：女雛、右：男雛
(北上市立博物館蔵)

絵馬

絵馬とは、祈願や願いが叶った時の感謝のため、社寺に奉納する木の板のことです。絵馬には、奉納の目的などの願いが描かれています。本展では、商売繁盛のため、馬が描かれた絵馬や、病気平癒のため、手足が描かれた絵馬などを展示します。



絵馬 両手両足図
(千手観音堂蔵)

令和4年度 下半期事業のお知らせ

□ 企画展

- ・ 1月 7日(土)～2月19日(日)
特別展「新収蔵資料展」

□ 芸能公演

- ・ 10月 2日(日) 飯豊鬼剣舞少年団
谷地鬼剣舞
- ・ 10月23日(日) 鬼柳鬼剣舞
- ・ 11月 3日(木・祝) 二子鬼剣舞
- ・ 11月 6日(日) 滑田鬼剣舞

□ 体験会・講座

- ・ 12月 冬休みワークショップ ※要申込
- ・ 1月 鬼っこわんぱく講座
冬季鬼剣舞体験 ※要申込
鬼剣舞ちょっぴり見学体験会
- ・ 2月～3月 鬼学講座 ※要申込

□ イベント

- ・ 1月29日(日) 福豆鬼節分会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の急な中止や内容変更等がありますことを、ご了承願います。

上半期事業報告

●企画展・特別展

- 企画展 ギャラリー鬼の館①「写真5人展」
4月23日～5月8日 1,623人
- 企画展 ギャラリー鬼の館②「ひらみつ回顧展」
5月14日～5月29日 627人
- 企画展 ギャラリー鬼の館③「想いの彩」
6月4日～6月19日 646人
- 企画展「北上のおまじない展」
7月23日～11月23日 開催中

●芸能公演

- 4月24日 北藤根鬼剣舞 中止
- 5月3日 鬼柳鬼剣舞め組 中止
- 黒沢尻鬼剣舞 中止
- 6月26日 岩崎鬼剣舞 観客 191人
- 7月10日 黒岩鬼剣舞 観客 149人
- 7月24日 口内鬼剣舞 中止
- 8月6日 北上・みちのく芸能まつり公演 中止
- 8月14日 岩崎鬼剣舞 中止
- 8月28日 相去鬼剣舞 中止

●大乗神楽大会

6月12日

中止

●逢魔が時ナイトミュージアム

9月3日

中止

●鬼っこわんぱく講座

5月5日 わくわくイベント

中止

夏季鬼剣舞体験

参加者 4人

7月16日・18日・24日・30日・31日・8月11日

鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会

参加者 9人

7月24日・30日

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月15日

和紙お面づくり

参加者 38人

鬼剣舞衣装着衣体験

参加者 10人

夏休みワークショップ

7月23日 鬼剣舞和紙お面づくり

参加者 6人

7月31日 鬼っこ万華鏡づくり

参加者 10人

8月7日 鬼まめしぼりづくり

参加者 7人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
 - ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
 - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
 - ・工事休館日(12月1日～12月7日)
 - ・年末年始(12月28日～1月4日)

- 交通利用**
- ・JR北上駅より車で約20分
 - ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

学芸ルームのかたすみで・・・

ある日、耳の不自由なご家族がご来館されました。お帰りの際に大雨が降り、傘もなくお困りのようでしたので、手話で「傘を1本お貸ししますので、車を入口まで持ってきてはいいかがでしょうか」と提案しました。このお客様に私の手話が通じたようで、たいへん喜んでいただけました。手話を勉強し、それが役に立ってよかったですと私も嬉しい気持ちになりました。



北上市立鬼の館だより

第 57 号 2022(R4). 10. 1

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508